

- (1) 築炉じん肺裁判
- (2) OBが見ても
- (3) 労働問題に決着文化運動
- (4) 沖縄名護へ連帯行事予定

SOLIDARITE 「連帯」 ソリダリテ

建交労大牟田支部通信

(No. 23)

築炉じん肺2018

雪舞い散る中の熱い闘い

1月30日(火)
10時から福岡地裁門前集会在雪の舞い散る中で始まった。

ここには、建交

労大牟田支部、福岡県本部、田川支部、福岡支部、西日本石炭じん肺長崎請求団、建交労九州支部大分分会、熊本分会、福岡県労連、福建労大牟田支部から法廷を埋め尽くす程の応援団が駆け付けてくれた。

今回の法廷には、残念ながら原告は気象条件などで裁判所には来られませんでした。熱血弁護団と共に寒さを感じない程の熱い闘争心で10時30分法廷に臨んだ。

法廷では、大分在住の原告が、現役時代から日々書き綴った手帳(日記)が証拠品として提出された。その中身は、これまで大和工業が主張していた単なるレンガ積み作業

員ではなく、築炉工として煉瓦加工、築炉作業、修炉作業等々、生の記録。そして、築炉じん肺弁護団の伊黒弁護士から意見陳述があった。

これまでの被告ヤマサキと大和工業の責任逃れの言い分を覆す。じん肺法が定める「粉じん作業」と、「築炉技能士受験テキスト」が望む築炉工とは「築炉作業で、与えられたレンガを切断したり、削ったりして、いろいろな形に作ることをレンガの加工またはレンガ切り、カワラ切り、などと呼ぶ。」「レンガ加工は築炉作業のうちの重要な一部であり、築炉工は十分その技能を習得していないければならない」など、レンガの加工は炉の種類関係なく、築炉工が従事する一般的な作業である事。

大和工業が請けていた新日鉄八幡製作所の炉材技術室長の論文。大和工業と同様に新日鉄から築炉業務を請け負っている

築炉業者の求人情報に、築炉作業の作業工程にもレンガ加工の事が記されていた事を述べられた。

かつてトンネルじん肺訴訟を経験した裁判長から「これからの法廷での弁論と進行協議」の提案がされた。

閉廷後、弁護士会館で報告集会が開かれ、傍聴に集った方々から、それぞれのメッセージが寄せられた。

次回法廷は、4月24日(火)10時30分福岡地裁で開廷。早期解決を求め各団体からの傍聴を望みます。(津波吉)



じかたび

今沖縄では、米軍の辺野古新基地建設で、米軍並びに日本政府と、先代々の土地を守れとオール沖縄の闘いが、名護市長選挙惜敗したが、続く市議選、秋には県知事選で、新基地反対派VS新基地建設推進派の大激戦が今後も繰り広げられる。
荒木 栄作曲

「沖縄を返せ」

かたき土を破りて
民族のいかりにもゆる島
沖縄よ
我等と我等の祖先が
血と汗をもて
守りぞだてた沖縄よ
我等は叫ぶ 沖縄よ
我等のものだ 沖縄は
沖縄を返せ (返せ!)
沖縄を返せ

OBが見ても

先日勝手に入れられたミリヲタ（軍事オタク）のページで、ヘリコプター護衛艦（DDH-183）いずも、DDH-184（かが）空母改造の記事が書かれていたので、それを推認すること、現政権の改憲論と今までの言論弾圧するための法改正、それがどんなに危険な事、これが戦略兵器であることを書きましたが、「いいね」も「ひどいね」がほぼありませんでした。

元海自というのを名のつた上でしたが、自分には関係無い、無関心、オタクのページで政治的な事、まじめな事書くなといった感じでしょうか？

ちなみにこの護衛艦は、建造時から巨大すぎる、ほぼ空母だと懸念があり、国内野党や近隣諸国からも疑念や反対が有りました。

歴代輸送艦が徐々に巨大化し、前ひゅうが型（2隻）は全長197m、基準排水量13500トン、更に一昨年就役したこのいずも型（2隻）

は全長248m、基準排水量19500トンです。

ピンとこないと思いますが、太平洋戦争中に世界一の大きさ（基準排水量）と言われた戦艦大和の全長が263m、基準排水量64000トンです。

排水量は蜂の巣甲板や幅、甲板より上の構造物が有るので違いますが、大和より15m短いくらいのデカさです。現役空母としては中小型といった感じですが。

そして、新しく搭載する艦載機はヘリコプターではなく、F35Bという最新式ステルス垂直離着陸機です。

これを搭載するために甲板や兵装備蓄庫、居住区などの追加改造、そして、各地護衛艦隊の旗艦が就役から40年を超える為寿命という事で、旗艦機能を持つための改造を行うというのです。

ついでに書いておくと、太平洋戦争中の艦の名前や空母の名前を使っています。（通常護衛艦も同じです。）

ちよっとオタクみたいになり失礼しました。

※※※ 輸送艦そのものは、震災時の陸送では難しい水や食料、その他救援物資輸送や伊豆大島の火山噴火時の島民脱出などで活躍しています。

※※※

●ここからはフェイスブックに私が投稿した内容

目には目を刃には刃をで切りが有りませぬよ。

艦艇が大型化しても定員が今まで通りか、少なくなったのはハイテクや技術のおかげだと思いますが、ハイテクはチャフ（電波を反射する物体を空中に散布する事でレーダーでの探知を妨害するもの）で一時的に無効化できるし、核の電磁パルスでも喰らったら使えませぬ。

無人機で攻撃するのもGAMME的になり、感情や実感がなくなり、虐殺の恐れがあります。

AIロボット化してもしかたありません。

最後に決定を下すのは人間であり、死ぬのは人間です。

一度戦争が始まると止まりません。負の連鎖が始まりま

す。

現在の戦争が早く終わるとは限りませぬ。長期になればおのずと人間が足らなくなり徴兵が始まります。

そして知り合いや友人、家族の命が奪われていきます。

過去の過ちを糧にしての9条なので。

ここに専守防衛を謳っていません。

日本は海外派兵もできません。インチキな解釈で行かされてますが、補給はれっきとした戦争に加担していることになります。

敵国は真っ先に補給を叩いてくるでしょう。

戦略兵器を持つことを禁じています。

日本の戦闘機は機能制限版で届くことができても行動することはできません、戦車も単独で海外へ行くことはできません。

ミサイルも直接届くことができず、これを輸送する空

母や強襲揚陸艦、大型輸送艦は戦略兵器となります。

武器に武器、軍事に軍事と拡張しても何も生まれません。それに頼る政治家もいません。外交努力してこれを回避する者が真の政治家です。

国民の口封じをする法律を着々と成立しています。

お気を付けてください。

政治のことはこれ以上書きません。

矛盾していますが、艦は好きですよ・・・（海軍好き）



護衛艦いずも

労働争議解決へ

7ヶ月の長期戦に終止符

昨年6月に相談を受けた労働問題が2月の解決への見通しが立った。

某乳製品販売直営店の、営業マン達の長期に渡る苦難の闘いだった。

彼らは、会社側の露骨な「成果主義」と卑劣な「脅し」に屈する事なく、「会社を善くしたい」一心で会社との交渉を続けてきたが、会社経営層から、その場しのぎのデマカセや圧力と闘うために、8月、建交労大牟田支部・民間分会に加盟した。

そこから、「組合加盟通知」「団体交渉申入」「要求書」を会社社長に手渡し、労働組合としての闘いになった。

9月21日に団体交渉を行った。

10月9日早朝、団体交渉を受け、平川執行委員長と共に、菊池店へ真実を他の従業員らへ伝える為のビラを配りに出かけた。

ビラに対する反響は一定のものがあつた。

そんな中、大牟田本社に勤める営業マンY氏は、業務中に完全孤立した為、次の道を選択する事になった。

11月6日、会社側弁護士との事務折衝を要求し、Y氏の雇用契約書に記す、最低限の営業固定手当はあつたが、ノルマによる営業成績に対する減額は一切記されていないが、過去2年間搾取されてきた減額分およそ38万円を退職を前提に請求した。

11月24日、Y氏の要求が通りようやく一人目の解決。

残るは、菊池店の二人。M氏・S氏両名の雇用契

約書には、顧客との制約から2ヶ月条項があつた為、両氏が共通して業務命令を受けていた乳製品配達の代替。9月21日団体交渉で要求していた「タイムカード」が12月6日に大牟田支部へ会社側弁護士から送られてきた。

早速試算！固定残業代3万円になる時間外勤務時間はおよそ27時間。タイムカード打刻時間通り、表計算ソフトに入力。固定残業を超過する残業だけでなく、1年間の労働日数を上回る勤務日数。両者共およそ36万円になる未払い時間外手当を要求。

今年、1月23日M氏・Y氏両人退職を前提に、その未払い金が「和解金」として支払いが決まった。

営業マン3人には早期解決できなかった分、苦労を強いた事になったが、2月末付退職で、ようやく解決に目途がたった。本当に長期戦でした…

うたぐいせ喫茶

毎日凍えるような冬の日々、楽しく歌って心から暖かくなってみませんか？

①2月10日(土) 14時

会場…だいく5階
電話…53-3333

②2月28日(水) 14時

会場…れんが停
(橋交差点そば)

電話…58-3300
①②それぞれドリンク代

500円



夏上映100人の会

旗本退屈男

2月25日(日)

①10:00
②13:30

鑑賞料…500円

会場…だいく5階

監督…松田 定次

主演…市川 歌右太衛門

桜町 弘子
横山 エンタツ
連絡先…橋本さん
電話…(53) 7663



大牟田支部から名護市長選へ連帯

第62回支部委員会

1月21日
(日) 第62
回大牟田支
部の支部委
員会が開催
された。

報告事項、
労働争議、
じん肺検診
進捗報告、

会計監査報告などが無
事に終わり、平川執行
委員長から提案があつ
た。

2月4日(日) 投開
票の沖縄県名護市長選
挙で、辺野古新基地建
設反対オール沖縄で現
職の稲嶺ススム候補が
負ける事があれば、米
軍と日本政府が容赦な
く強引に押し付ける辺

野古新基地建設に歯止
めが効かなくなる。
戦後、沖縄に米軍基
地が集中し、
米軍機の騒音
や事故、婦女
暴行事件など、
ウチナーにとつ
て威信のなかっ
た選挙戦であ
る。
大牟田支部
の黄色いカン
パ箱には何と
37,055
円もの金額が
入っていた。
これを稲嶺
ススム必勝カ
ンパとして沖
縄に送金する
事を、代議員

2018年1月26日

各位

安保廃棄・くらしと民主主義を守る
沖縄県統一行動連絡会議(沖縄県統一連)
代表幹事 新垣繁信・中村 司

支援募金の御礼

このたびは名護市長選の支援募金をお寄せいただき有り難うございます。
名護市長選がいよいよ告示を迎えます。私たちは翁長知事とともに「建白書」の実現をめ
ざす稲嶺市長の三選に向けて全力をあげているところです。
この間、自公勢力は最大の争点である辺野古新基地建設について態度を曖昧にし、争点と
そらしとデマ宣伝に徹しています。稲嶺市長は私たちの集会で、今回の選挙は一首長選挙で
はなく、日本の民主主義、地方自治、人命・人権が問われる選挙だと強調しました。まさに
負けられないたたかいです。時間との勝負となっています。最後の最後まで全力を尽くし、
稲嶺市長の勝利を勝ち取りたいと思います。

や傍聴者から快く賛同
いただき、早速送金す
る事にしました。
1月26日に「沖縄県
統一行動連絡会議」か
らお礼状が届きました。
ご賛同とカ
ンパ頂いた皆
さんには心か
ら感謝いたし
ます。
(津波古)

<行事予定>

- 2月2日(金) 10:00～ 労職分会定例会
- 3日(土) 13:30～ 県労連評議委員会(津波古)
- 5日(月) 13:00～ 公共・一般分会定例会
- 7日(火) 10:30～ 県本部執行委員会(平川・津波古)
- 8日(水) 10:00～ 九州ブロック会議(津波古・欠席)
- 10日(土) 女性部委員会・県本部(多田)
- 15日(木) 13:00～ 労職部会学習・交流会(津波古)
- 16日(金) 築炉じん肺弁護団会議(平川)
- 17日(土) 国民救援会 春の集い
- 18日(日) 10:00～ 民間分会定例会
- 21日(水) 支部執行委員会
- 25日(日) じん肺キャラバン実行委員会(津波古)
- 27日(火) 14:00～ 社保協幹事会

じん肺検診経過 (1月末時点)

- ・石綿健康管理手帳取得者…3名
- ・石綿健康管理手帳申請中…1名
- ・じん肺管理区分3イ…1名
- ・(内1名は西日本石炭じん肺弁護団)
- ・じん肺管理区分審査請求…3名